

静岡県におけるアカマツ材の販促活動 およびスギ材の品質管理システムの調査

南部アカマツ振興センターの販促活動の一環で、11月に静岡県のビルダー(2社)を対象としたPR・意見交換が行われ、併せて天竜地域の品質管理状況調査が行われました。

1 ビルダーへの販促活動

最初のビルダーは、地域材利用にこだわり、設計士が大工を雇用し建築を行うところで、天然乾燥無垢材を構造材、内装材に多用することを特徴としていました。久慈地域のアカマツに関しては、特にたいこ梁平角材に興味を持ち、カタログ、価格、品質管理について評価が得られました。

2社目のビルダーは、社寺・一般建築を行う工務店で、住宅に社寺の工法を導入することを特徴としていました。丸太からの加工にこだわり、久慈地域の天然アカマツ丸太に興味を示し、役物アカマツ丸太の問い合わせがありました。

2 天竜地域の品質管理調査

葉枯らし、天乾が施された高齡級スギ、ヒノキ材にトレイサビリティを行うことで付加価値を高め販売を行っている天竜TSドライシステム協同組合で調査を行いました。ここでは、個々の丸太にバーコードを貼付け、素材生産・製材・建築において一貫した品質管理を実施していました。この事例を参考にして久慈地域においても、簡易な品質管理方法について検討を進める予定です。



写真1 PR・意見交換

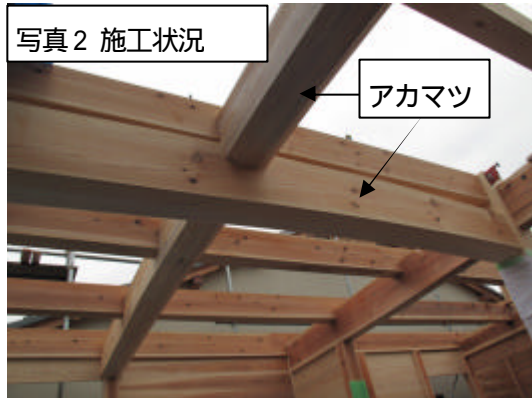


写真2 施工状況

アカマツ



写真3 伐採状況



写真4 トレイサビリティ状況

(林内丸太 貯木場丸太 製材品)